

もし、チックコリアが好きなら 前谷雅貴さんの箏曲のプレイ

風や水や雲の動きを写す自然詩人

前谷雅貴さんの箏曲のプレイをギャラリー・キャメルKで初めて聴いた。

ソリッドな音だった。眼をつむっていると、ピアノの演奏を聴いているように思えた。黄昏に始まった真夏の夜のギャラリー空間は一瞬にして明るい透明な風の吹き渡る気持ちの良い晴れた日の午後に私たちを連れて行った。音が木々の枝先をそよがせる風のように自由に飛び交い、風かと思えば鳥の飛翔の軌跡に変身し空高く舞のぼり、下降し、羽の裏を見せてはその美しい姿を誇るように舞い踊る。かとおもえば、溪谷の水のせせらぎとなって石に砕け、向きを変え、広く静かに流れていく気配である。音は風になり、水になり、空を横切る雲の動きとなってさわやかな自然の気を私たちに運んでくれるのだった。もし、あなたがアメリカのピアニスト、チック・コリアが好きならきっと前谷さんのプレイ振りを気に入るに違いない。箏曲のプレーヤーとしての前谷さんの演奏には自然詩人のような東洋のすがすがしい音のシャワーがある。



中国・唐代 (8C)

「宮樂圖 (きゅがくず)」

台北故宮博物院所蔵

※奥の3人のうち左端の人物が箏 (こと) を弾いている。左が笙の笛、右が琵琶、ひちりき。宮廷の女性達が女だけでお酒を飲んでゲームをしながら音楽を楽しんでいる図。作者は不詳。彼女たちの額には桃の花びらが描かれている。白粉と紅花を使った唐代の女性達の化粧法だった。作者は勿論女性達の顔を理想的な美女としてふっくらとした下ぶくれの輪郭に描いている。

定例
毎月第一月曜日
「前谷雅貴
箏ことライブ」

